

『銀の風』は世界遺産「石見銀山遺跡」から着想を得ています。
「石見銀山遺跡とその文化的景観」は人類の平和と人権の尊重を
めざすユネスコの世界遺産に登録されています。

「看護の日記念行事」

フローレンス・ナイチンゲールの生誕にちなみ「看護の日記念
行事」を開催しました。

当日は、「血圧・血糖測定」、「乳がん検診のすすめ」、「水分
補給と飲み物の選び方の紹介」、「アロマハンドマッサージ」などに、
多くの方にお立ち寄りいただき、様々な質問や感謝の言葉をいただきました。

この記念行事を通して、地域の皆さまに、看護の心やケアの心、助け合いの心について考え
ていただくきっかけとなれば幸いです。

「病院ボランティア養成講座」

病院ボランティア「カーネーション」による「病院ボランティア
養成講座」が開催されました。

講座では、当院職員の指導のもと、感染予防や車イスへの移乗介助、
受付・案内業務などについて実践的に学び、患者さんへの接し方や安全な支援
方法への理解を深められる機会となりました。

病院ボランティアは、患者さんやご家族が安心して受診できる環境を支える大切な存在です。
当院では、地域の皆さまの力をお借りしながら、より良い病院づくりを進めていきたいと思い
ます。活動にご興味のある方は、事務局 総務課までお気軽にお問合せください。

産婦人科診療体制の変更（分娩の当面休止）について

出産時の母子の緊急時を含めた様々な事態への安全確保を最優先とするため、令和9年3月
中旬以降、当院での分娩を当面休止いたします。分娩は、出雲圏域の連携医療機関を中心に実
施することとし、当院では、産前・産後の健診と産後ケア及び産婦人科領域の診療などを継続
して行います。

妊婦さんやご家族のご希望を丁寧にお聞きしたうえで、引き続き産前・産後の対応と連携に
努めてまいります。

みなさまの命を守るため、より安全な分娩体制への移行、医療機関連携にご理解を賜ります
ようよろしくお願いいたします。詳しくは、当院ホームページをご覧ください。

- 「看護の日記念行事」
- 「病院ボランティア養成講座」
- 産婦人科診療体制の変更
（分娩の当面の休止）について
- 診療科紹介／小児科
- おおだの医療を支える
ー病院スタッフの1日ー（臨床検査科）
- 市立病院からのお知らせ
 - ご支援のお礼とご報告
 - 「再来受付機」が新しくなりました。
 - 「部長紹介」（令和8年7月1日付）
 - 「環境美化活動」
 - 「第10回病院まつり」



市立病院からのお知らせ

ご支援のお礼とご報告

令和8年3月18日から実施しておりました乳がんマンモグラフィ更新のための
クラウドファンディングには、315名の皆さまから総額10,697,000円のご寄附
をいただき、目標金額を大きく上回る成果を達成することができました。心より
御礼申し上げます。

約2カ月にわたる募集期間中にいただいた多くの励ましのお言葉とご支援は、
マンモグラフィ検査に携わる医療従事者はもとより、全ての病院職員にとって大きな励みとな
り、地域の皆さまに安全で質の高い医療を提供し続ける決意を新たにすることができました。
ご支援、ご協力いただきました皆さま並びに関係者の皆さまに改めて感謝申し上げます。

整備した新しいマンモグラフィ機器は、すでに稼働しております。今後も乳がん検診の受診
率向上と一人でも多くの方の早期発見に努め、地域の皆さまの健康と安心を支える医療の提供
に取り組んでまいります。

「乳がん検診のご案内」



ー検査日ー

毎週火曜日～金曜日

- ・午前 10：00～12：00（6名）
- ・午後 14：00～16：00（6名）

ー予約方法ー

- ・オンライン予約または電話予約

オンライン
予約はこちらから



医事室 （電話）0854-84-7571

「再来受付機」が新しくなりました。

マイナンバーカード対応の再来受付機を導入しました。新しい再来受付機
では、マイナンバーカードをかざし、顔認証または暗証番号による本人確認
を行うことで、1台の端末で保険資格情報の確認と受付をまとめて行えます。

マイナンバーカードをお持ちでない方は、これまで通り診察券での受付も
できます。この場合は、総合受付に資格確認書をご提示ください。
操作方法が分からない場合や、お困りの際はお声がけください。



「部長紹介」（令和8年7月1日付）



質の高い医療の
提供に職員一丸
となり取り組ん
でまいります。

診療技術部長 森山 一郎
（消化器科部長）

「環境美化活動」



患者さんや来院され
る皆さまに気持ちよ
く過ごしていただけ
るよう、病院職員が
ボランティアで敷地
内の除草や花壇の整備などを行
いました。

「第10回病院まつり」

令和8年10月18日（日）

10時から14時まで

もっと身近に もっと笑顔に
～ありが10の気持ちをこめて～

おたのしみにつ

和

誠意

奉仕

- 1)大田二次医療圏の中核病院として、5疾病6事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2)病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3)地域での必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4)訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5)医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6)職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。

大田市立病院HP

facebook



発行：

大田市立病院
広報委員会

大田市立病院の様々な情報をホームページ・facebookに掲載しています。

〒694-0063

島根県大田市大田町吉永1428-3

TEL：0854-82-0330 FAX：0854-84-7749



堀 大介
小児科 部長

小児科では、年齢0歳から中学生まで、そして色々な種類の病気を担当しています。

小児科のスタッフ

現在、常勤医師は2名です。月曜日から金曜日まで、週5日の外来診療を行っているほか、毎週火曜日には小児心臓外来、毎月第1木曜日には小児神経外来（けいれん、てんかんなど）の専門外来を行っています。

また、毎月第2月曜日には发育性股関節形成不全（以前は先天性股関節脱臼といっていました）に対する超音波検査を行っています。



こどもさんの受診について

こどもさんの急な発熱や症状、不安になりますよね。病院に行くべきかどうか、夜間や休日には特に困りますよね。

こんな時大切なのは、「いつもと違う」という感覚です。私たち小児科医は、こどもさんを診るとき、まずは、お顔や全身を診たときの直感を大切にしています。

例えば発熱の時は、呼びかけても反応がない、元気がなく起き上がれない、水分が取れない、くちびるや皮膚の色が悪い、初めてのけいれん、けいれんがとまらない、3か月未満の赤ちゃんの発熱：などですが、こどもさんの症状すべてをここに書くことも難しいです。

そこで、こどもさんの症状が受診すべきかどうかなど簡単にチェックできるサイトをご紹介します。

「こどもの救急」で検索されるか、右下のQRコードをお読み取りください。受診時の持ち物、注意点、自宅での看病のポイントが掲載されています。受診すべきかどうか迷われる場合は参考にしてください。



こどもの救急「ONLINE-QQ」



監修
「日本小児科学会」



当院小児科スタッフは、「笑顔で大切に」をモットーとしています。

まず、こどもさんの笑顔、次にご家族の笑顔、そして地域の皆さまの笑顔を目指していきたいと考えています。

こどもが好きなスタッフばかりです。不安なことがあればお気軽にお尋ねください。



臨床検査技師のとある1日

臨床検査科は、患者さんの診断や治療に必要な検体検査、生理機能検査などを行い身体の状態を調べる部署です。

医師の診断や治療方針の決定に必要な情報を、正確かつ迅速に提供できるよう日々努めています。

01 外来採血

朝8時30分より3台の採血台を使用し、1日に100～130名の患者さんの採血を行っています。



混雑の状況によっては、待ち時間が長くなることがありますのでご了承ください。

02 各種検査の実施

検体検査では、患者さんから採取した血液、尿、便などから貧血、肝機能、血糖値、感染症の有無などを調べて数値化し、診断や治療に役立てています。緊急検査にも対応し、必要な情報を迅速に医師へ提供します。



生理機能検査では、患者さんの身体に機器をあてて、心臓、血管、脳などの働きや、聴力、視力、睡眠時の呼吸状態などを調べています。患者さんの体調に配慮し、安心して受けていただける検査を心がけています。



病理検査では、島根大学医学部附属病院の病理医が、正確な病理診断を行うことができるよう、手術や内視鏡で採取した組織からがん細胞や炎症を詳しく調べる標本を一つひとつ丁寧に作製しています。



03 技術スキルアップ勉強会

外部講師による研修や、院内の他部署の職員との情報共有、意見交換を通じ、臨床検査技師のスキルの向上に努めています。

安心で質の高い検査を提供できるよう、日々の業務にとどまらず継続的な学習にも力を入れています。



- 01 外来採血
- 02 各種検査の実施
 - 検体検査（血液、尿、便）
 - 生理機能検査（心電図、超音波検査、肺機能検査、脳波検査など）
 - 病理検査
- 03 技術スキルアップ勉強会
 - 入院患者予約分採血管の準備
 - 終礼

このほか
機器の精度管理をしています。

毎日の検査業務開始前に機器を点検し、常に正確な結果を提供できる体制を整えています。

また、夕方には、検査試薬の補充や在庫確認、機器のメンテナンスを行い、翌日の業務が円滑に進むよう準備します。

この他、他の施設との検査数値の比較や、検査データの信頼性を高めるため、年2回臨床検査技師会が開催する精度管理調査や検査機器メーカーによる精度管理調査にも参加しています。

『臨床検査科 スタッフ』

